

資料編

絵図分類

1. 西曲輪・北側の各曲輪を描く絵図の類型表（近世）

類型	西曲輪			味噌曲輪			無名曲輪	御隠居曲輪
	曲輪内区画	区画の虎口	北馬出	東柵形虎口	北西虎口	北虎口		
A	○	○	角	○	○	—	—	—
B	—	—	角	○	—	—	—	—
C	—	—	角	○	—	○	—	—
D	○	○	角	○	—	—	○	○
E	○	○	角	—	○	○	—	—
F	○	○	角	—	—	○	—	—
G	—	—	角	—	—	—	—	○

2. 類型別一覧（近世）

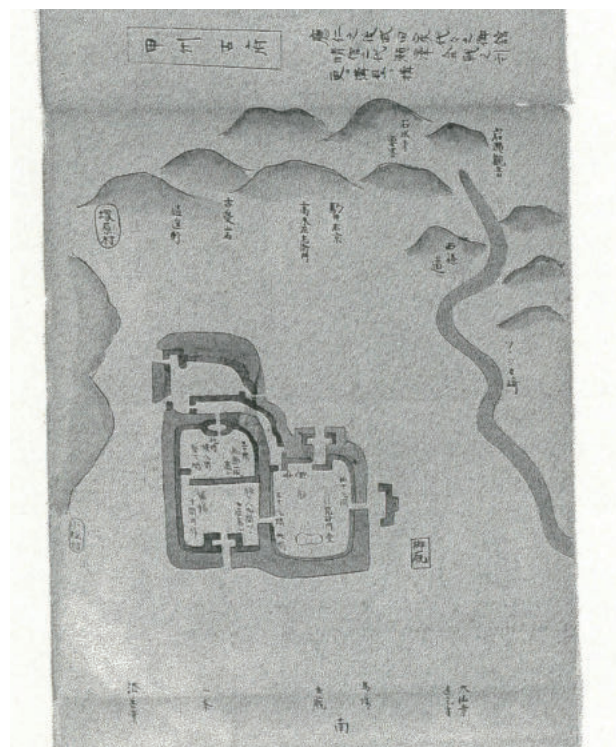
類型	記号	調査番号	名称	所蔵者(機関)	作成時代	種別
A	A-1	恵-1	甲州古城勝頼以前図	恵林寺	近世	原本
	A-2	県図-21-12	甲信築城図 古0-781 古府	山梨県立博物館	近世	原本
B	B-1	狩-1	甲州古府中城之図	東北大学附属図書館「狩野文庫」	近世	原本
	B-2	県図-7	山梨郡古府中村武田信玄公屋敷構絵図 H095.2-28	山梨県立博物館	近世	写
	B-3	甲-1	武田信玄公屋敷構	「甲陽随筆」所収	近世	印刷物
	B-4	池田-1	甲州古府中武田信玄御居城之図 T3-333-3[東山道諸城図ほか]	岡山大学附属図書館 池田家文庫	—	—
C	C-1	池田-2	甲州古府中城之図 T3-157	岡山大学附属図書館 池田家文庫	近世	写
D	D-1	浅野-1	甲斐古府中	広島市立中央図書館 浅野文庫	近世	原本
	D-2	島図-4	甲府古府中絵図 (72-33)	島原市立図書館	近世	原本
	D-3	尊-1	甲斐古府中屋敷構	財団法人前田育英会「尊経閣文庫」	近世	原本
E	E-1	坂	武田古城館縄張之図	坂田邦夫	近世	原本
F	F-1	武-2	御城廓之直図	武田神社	近世	原本
	F-2	静-1	甲州古府城図	静嘉堂文庫	近世	原本
G	G-1	裏-1	古府城図	「裏見寒話」	近世	—

※『整備基本構想・整備基本計画』策定時調査資料

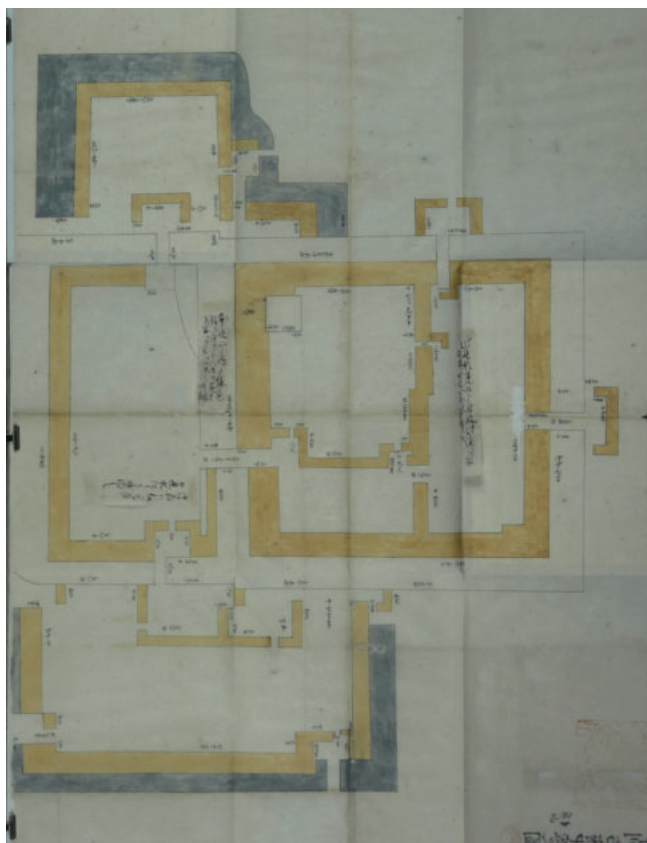
3. 絵図



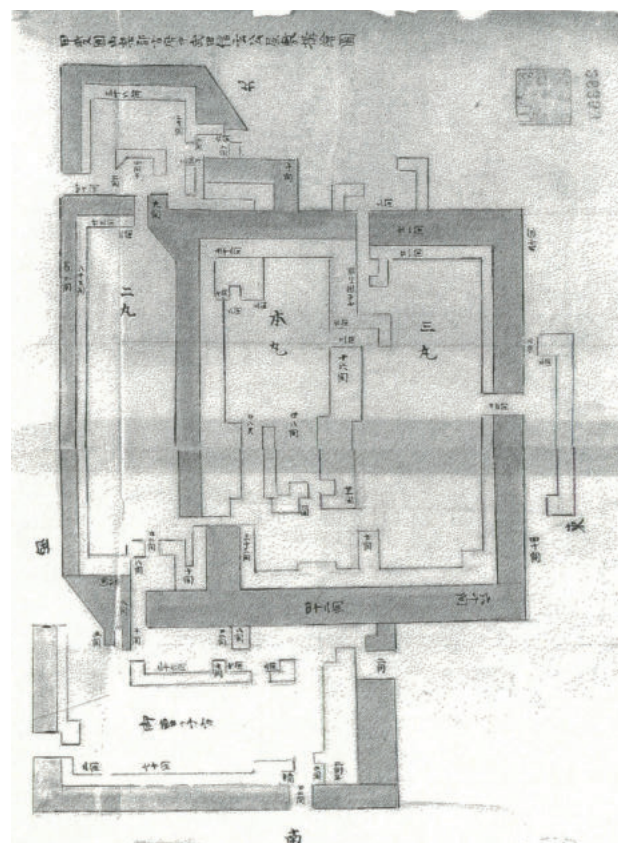
A-1 甲州古城勝頼以前図



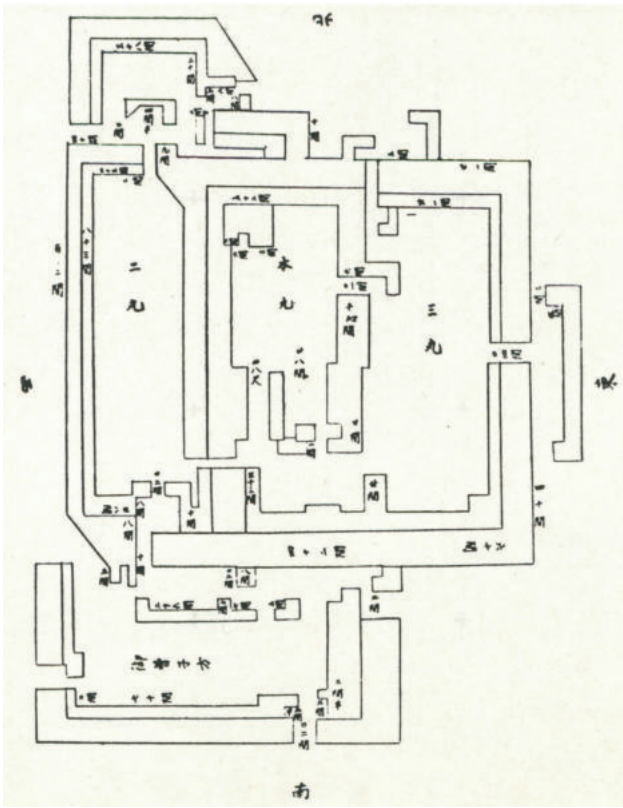
A-2 甲信築城図 古 0-781 古府



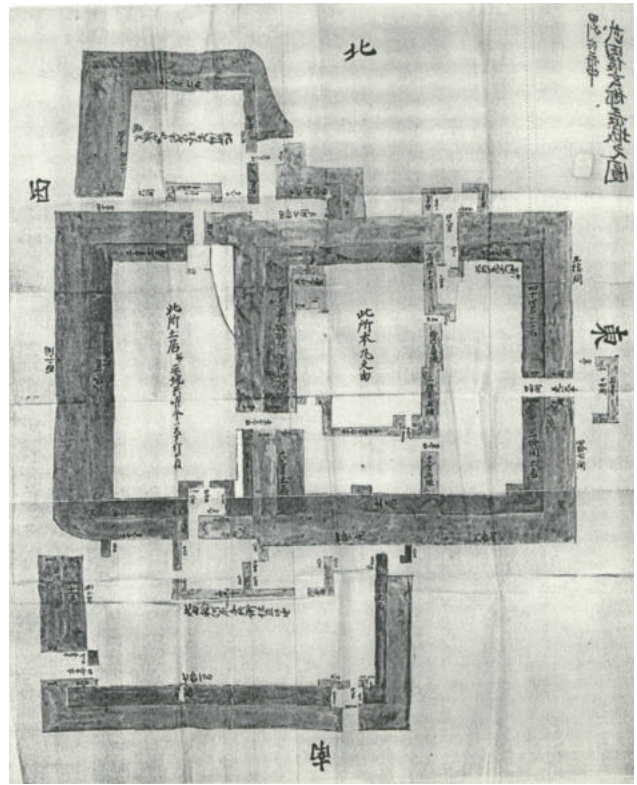
B-1 甲州古府中城之図



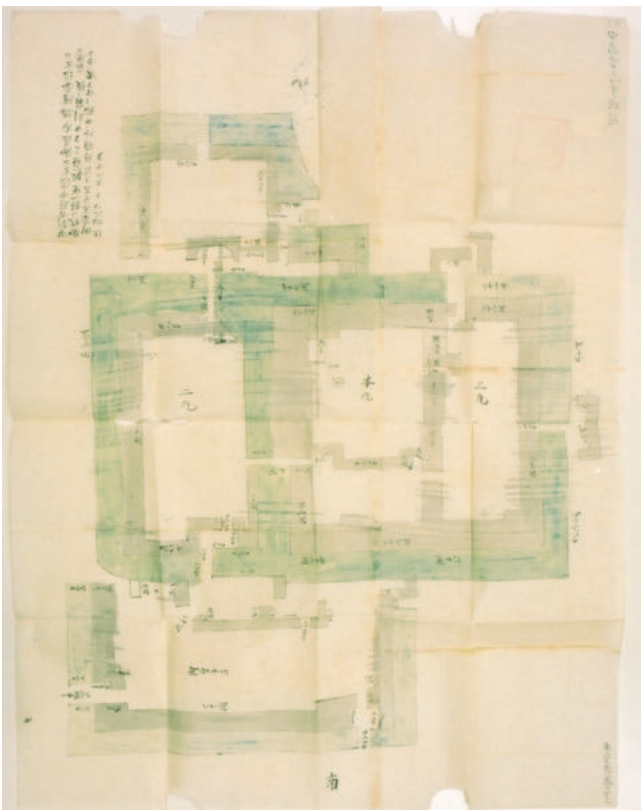
B-2 山梨郡古府中村武田信玄公屋敷構絵図
H095.2-28



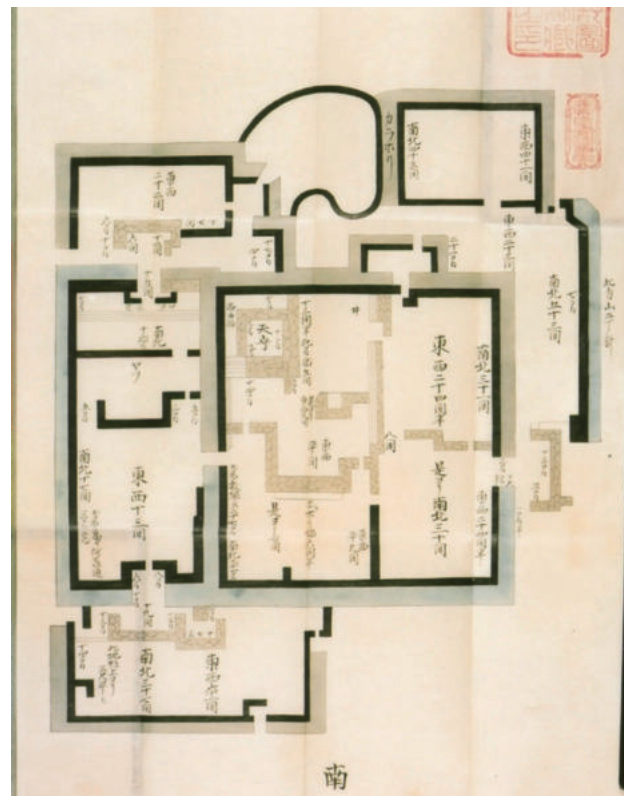
B-3 武田信玄居敷構



B-4 甲州古府中武田信玄御居城之図
T3-333-3 [東山道諸城図ほか]



C-1 甲州古府中城之図 T3-157



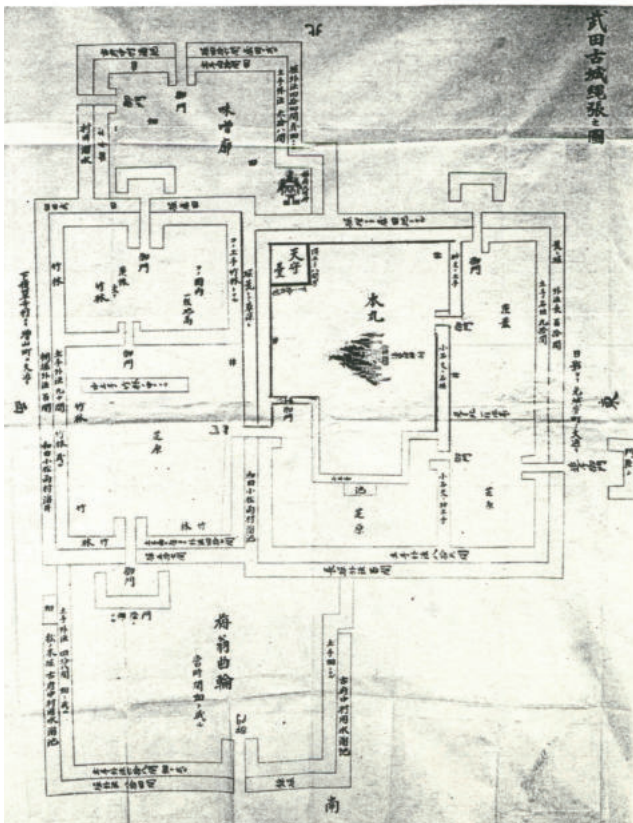
D-1 甲斐古府中



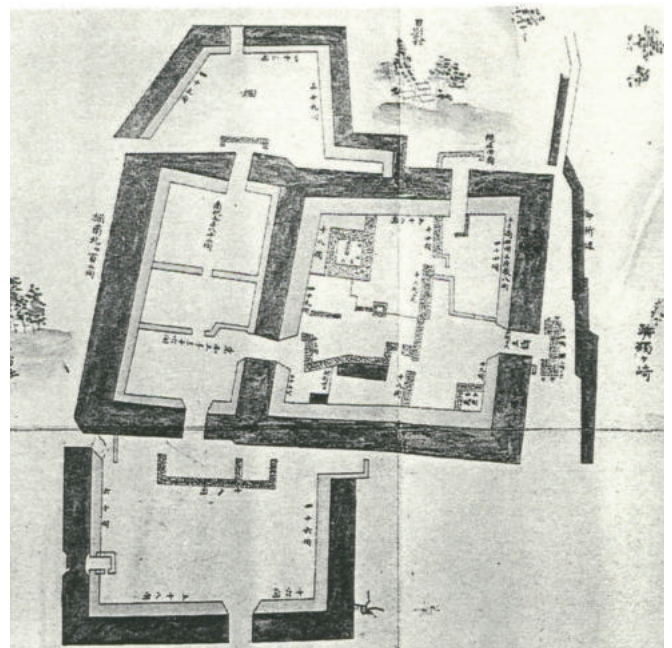
D-2 甲府古府中絵図 (72-33)



D-3 甲斐古府中屋敷構



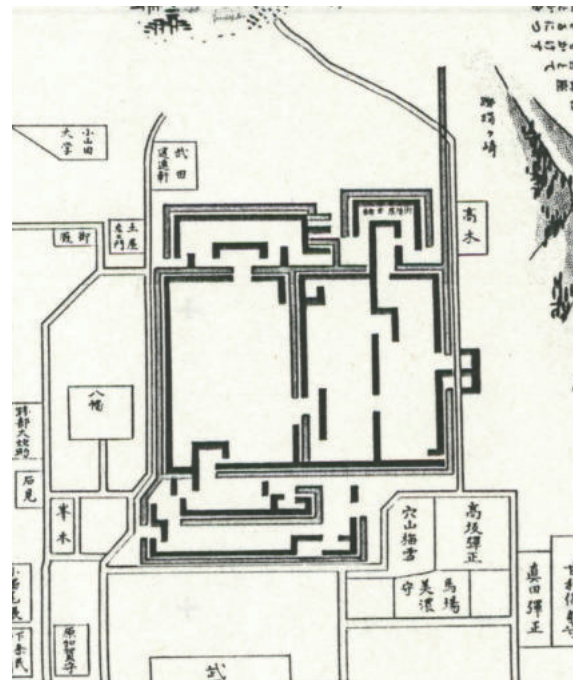
E-1 武田古城館繩張之図



F-1 御城廓之直図



F-2 甲州古府城図



G-1 古府城図

■ 便所の必要数の検討

ア. 史跡全域の便所機能の検討

① 必要穴数

近年の来場者数から便所の必要穴数を検討する。

平成 30 年の武田神社への来場者数は約 50 万人であり、最大月は 1 月の約 17 万 3 千人であるが、この 1 月は初詣が大半である。史跡の利用者を推計する数値としては次に多い 11 月の約 36,500 人に基づいて検討する。

・ ピーク日の来場者数

次の計算から、ピーク日の来場者数を約 3,700 人と推計する。

ピーク日の来場者数（都市公園利用実態調査参考）

年間集中度率 0.84%

月間集中度率に換算 10.08%（年間集中度率×12）

推計 3,679 人 / 日（36,500 人×10.08%）

・ 同時滞在者数

駐車場の可能率統計から、平均滞在時間を 2 時間とみなした場合の同時滞在率を推計する。

平成 30 年の日曜日（10 月 21 日）の駐車場台数（乗用車）では、2 時間当たりの最大は 11～12 時が約 31%を占める。ここでは 30%として、上記のピーク日来場者数から同時滞在者数を 1,110 人と推計する。

同時滞在者数 3,700 人 / 日 × 30% = 1,110 人

・ 便所の必要穴数

上記の同時滞在者数から、便所の必要穴数を推計する。この推計には複数の方法があるが、ここでは平城宮跡の「便益施設の需要予測及び便益施設等の整備計画」（国土交通省）を参考とした。

推計式 $Y = A \times B \times C \times D \times E \times F$

Y：便所必要穴数（穴）

A：最大時同時滞在者数（人）

B：男性及び女性比率（5：5とする）

C：使用回数（0.4回/h）

D：大小便比率（大：1、小：9の割合とする）

E：平均使用時間（「建築設計資料集成」参考）

男大 400 秒 / 60 / 60 = 0.1111 h / 回

男小 30 秒 / 60 / 60 = 0.0083 h / 回

女大 400 秒 / 60 / 60 = 0.1111 h / 回

女小 120 秒 / 60 / 60 = 0.0250 h / 回

F：安全率（1.2）

	Y	A	B	C	D	E	F
Y1(男・大)	3	1,110	0.5	0.4	0.1	0.1111	1.2
Y2(男・小)	2	1,110	0.5	0.4	0.9	0.0083	1.2
Y3(女・大)	3	1,110	0.5	0.4	0.1	0.1111	1.2
Y4(女・小)	6	1,110	0.5	0.4	0.9	0.0250	1.2
計	14						

・現状施設

現状施設の穴数と上記の推計値を比較すると、整備範囲全域での必要穴数は満足する計算となる。

現状施設	男(大)	男(小)	女	車いす
武田氏館跡歴史館	3	5	5	1
西曲輪便所	2	6	5	1
計	5	11	10	2
必要数	3	2	9	

② 必要棟数と配置

次に、便所の必要棟数について検討する。

都立公園の実態調査に基づく便所の必要個所数では、史跡の規模から総合公園を参考にする
と0.2～0.8棟/haとされ、状況に応じて幅がある（「都市公園技術標準解説書 資料」）。

史跡の神社所有地を含む整備対象範囲は概ね12haに及び、総合公園の数値から2.4～9.6
棟となる。

史跡内においては便所の設置に制限があるが、少なくとも3棟は必要と考えられる。

既存便所（武田神社・武田氏館跡歴史館）の配置バランスや史跡北側への来場者の誘導、御
隠居曲輪等の長時間の活用を考慮すると、北側の各曲輪のどこかに便所を設置することが妥当
と考えられる。

イ. 御隠居曲輪南スポット緑地に設置する便益施設に求められる機能

館跡を巡る動線や、無名曲輪・御隠居曲輪のイベント的な活用をふまえると、同時滞在数は
最大で100人程度と思われる（広場面積約320㎡/3.3㎡≒100人）。この数値に基づいて上記
と同様な推計によると、便所の必要穴数は次の通りとなる。

男大：1穴、男小：1穴、女大1穴、多目的1穴（同時滞在180人まではこの穴数となる）

史跡武田氏館跡第3次整備基本計画

令和2年3月31日

発行 甲府市教育委員会

〒400-8585 山梨県甲府市丸の内1丁目18番1号

TEL 055-223-7324

FAX 055-235-5648

